

がいらいしょくぶつ  
**外来植物**は、海や川などから漂着物として流れ着いたり、海岸を訪れる人によって運ばれたりして広がります。外来植物たちの中には、海岸に定着し、元からあった海浜植物に悪影響を与えるものがあります。吉崎海岸では、そんな外来植物を駆除し、貴重な海浜植物の保護を行っています。

# 吉崎海岸の外来植物

**迷惑度NO.1**



コマツヨイグサ

黄色い花が特徴

北アメリカ原産。吉崎海岸全域に広がって、海浜植物を駆逐する可能性があり、駆除対象NO. 1。

**迷惑度NO.2**



アメリカネナシカズラ

見た目はラーメン！

北アメリカ原産。海浜植物の上にかぶさるツル性の寄生植物。ハマビルガオやハマゴウに寄生し、養分を吸い取る。

**迷惑度NO.3**



ホソムギ

ヨーロッパ原産。種子の生産能力が高く繁殖力が強い。



メマツヨイグサ

北アメリカ原産。背が高く黄色い花をつける。

**迷惑度NO.5**



ピロードモウズイカ

ヨーロッパ原産。高く伸びる。葉が肉厚でフワフワ細かい毛が生えている。

**迷惑度NO.6**



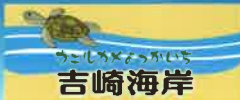
シナダレスズメカヤ

南アフリカ原産。繁殖力が強い。高速道路や宅地造成地の土留めに利用されて広がる。根をスコップで掘って駆除する。

## 吉崎海岸アクセスマップ



場所は磯津漁港南側突堤付近のウミガメのコンテナ倉庫が目印です



## 吉崎海岸の清掃と外来植物駆除のご案内

四日市ウミガメ保存会と楠地区まちづくり検討委員会の協働事業で、流れ着くゴミなどの回収と外来植物駆除を行っています。

